平川市男女共同参画情報誌



互いに認め、支えあう、男女(ひと)がきらめく平川市

第5号 平成21年11月1日発行

「キアラ」はイタリア語で「光り輝くもの」「よろこびをもたらすもの」を意味します。平川市男 女共同参画推進プランの基本理念である「互いに認め、支えあう、男女(ひと)がきらめく平川市」 のとおり、輝く未来を見つめながら性別にかかわらず1人ひとりがお互いを認め、自分らしさを十分 に生かせる平川市をめざしたいという願いを込めています。



生活の充実が、気持ちの充実、仕事の充実につながります。(写真は櫻田誠一杯全国演歌大賞より)

仕事も家庭も、大切にしたいあなたへ

生活が充実している時は、気持ちも充実します。気持ちが充実している時は、仕事も 充実します。仕事が充実した時にはまた、生活も充実します。

「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」が取れている時、私たちの生活に このような好循環が生まれます。

でも、みんなが望んでいるはずなのに、なぜか実現できていない「ワーク・ライフ・ バランス」。みなさんも「ワーク・ライフ・バランス」について考えてみませんか?

あなたは、

仕事と生活のバレン とれていますから

子育てしながら仕事をしたい。

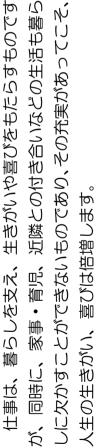
そんな希望をかなえるために、ワーク・ライフ・バランス なしたい。 趣味も楽しむ時間を確保して仕事をしたい。 資格を取るための勉強をしながら仕事 親の介護をしながら仕事をしたい。



ませんか?

が実現した社会をみんなで目指してみ

仕事もプライベートも充実したい



- しかしながら、現実の社会には、
- ・安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない、
- ・仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない
- ・仕事と子育てや老親の介護との両立に悩む

これらが、働く人々の将来への不安や豊かさが実感できない大きな要因となっており、社会 など、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます の活力の低下や少子化・人口減少という現象にまで繋がっていると言えます。 そんな中、ワーク・ライフ・バランスという言葉が今、注目されています。



『ワーク・ライフ・バランス憲章』を定め、また、国民や企業など 国は、ワーク・ライフ・バランスが実現した社会目指すために、 ワーク・ライフ・バランスは、『仕事と生活の調和』のことです。 が取組むべき指針を定めました。

指針の一例として・・・

- 企業は職場風土改革に取り組もう。
- 取引先にも配慮しよう。 自分の企業だけではなく、関連企業、
- 国民は消費者の一人として、サービス提供者の働き方にも配慮しよう。
- ・ワーク・ライフ・バランスを実現している企業を社会的に評価しよう。
- 1つ1つのハードルは高いかもしれませんが、ワーク・ライフ・バランスが実現した社会を 作るためには、『変えなければ』というみんなの意識と行動が必要なんですね。



少、 「かることがつ おめよう。

ワーク・ライフ・バランスの実現のために、何か自分でできることから 始めてみませんか?

- 残業しない日を決めてみる。
- ・仕事の前に今日やることを書き出してみる。
- ・自分の新しい目標を決めてみる。
- ・誰かが家事をしていたら、手伝ってみる。

日頃のちょっとした工夫や気遣いが、自分だけではなく、家族や仲間の ワーク・ライフ・バランスの実現につながることになるかもしれませんね。

「カエル・ジャパン」キャンペーンを覚えてケロ

「カエル!ジャパンキャンペーン」は、内閣府が行う、ワーク・ライフ・バ ランスの推進キャンペーンです。

を通し、ローク・ライフ・バランスの 現状を「変える」というちょっと勇気のいることを、「カエル!」として、な んとも愛嬌のあるカエルのキャラクタ 推進に向けて呼びかけています

このキャンペーンは、ワーク・ライフ・バランス実現に向けたアクションを さあ、あなたも今すぐ、ホームページヘアクセスして、キャンペーンに参加 起こす意思があれば、企業、団体、個人を問わず誰でも参加できます。 し、癒し条のカエルのロゴマークをゲットしよう!!

仕事と生活の調和推進ホームページ http://www8.cao.go.jp/wlb/ (ロゴマークは、名刺などに使用できます。)



こんなロゴマークの街にもいろいろあるぞ。

み ん な で つ な ご う

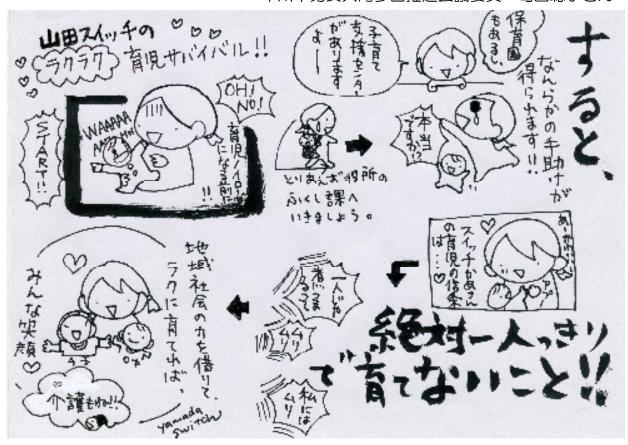
なで びらかわ ごう リレーコラム



このコーナーは、いろんな方に、男女共同参画について日頃思っていることを何でも叫んでいただこうという新企画です。トップバッターは、かわいいイラストでおなじみ、「山田スイッチ」さんこと、 葛西聡子さん(平川市男女共同参画推進会議委員)が、育児をテーマにイラストで書いてくれました。

第1回 山田スイッチのラクラク育児サバイバル!!

平川市男女共同参画推進会議委員 葛西聡子さん



〈編集後記〉

第5号はワーク・ライフ・バランスを中心に取り上げましたが、書きながら、自分や家族のワーク・ライフ・バランスはどうなのかな?と考えるいい機会になりました。

新しく始まったひらかわリレーコラムは、山田スイッチさんの楽しいイラストが誌面を明るく飾ってくれました。スイッチさんのイラストは本当に心が温かくなりますね。

「きあらひらかわ」は、これからも男女共同参画を楽しくわかりやすく お伝えする情報誌として、少しずつ進歩していきたいと思います。(た)

○ご意見・ご感想をお待ちしています!

〒036-0104 平川市柏木町藤山 25-6

平川市役所 総務部総務課行政改革係

TEL0172-44-1111(内線 1353)

メール gyoukaku@city.hirakawa.lg.jp

http://www.city.hirakawa.lg.jp/danjyokyoudou/danjyokyoudou_top.html



平川市役所は「カエル!ジャパン」 キャンペーンに参加しています。 http://www8.cao.go.jp/wlb/